

# ソローとの散歩 — 私たちのまわりの自然に気づくために —

クラス  
コード **64A09**

曜日時間 土曜 15:00~16:30 受講料 8,400円 定員 20名 単位 1単位

**概要** ソローの文章の多くは、彼自身によって朗読されたものでした。自然の大气、星、月、太陽、花、葉、樹木、動物、鳥、そして自分の町を感じさせる朗読だったことでしょう。ソローといっしょに彼の四季を、そして私たちの四季を身体全体で感じましょう。日常生活の衣食住を通してソローは自然と交信しました。つつましさ、自然の恵みの意味を考えてみます。

**講師** 山口 晃

ソロー翻訳家 政治哲学者  
訳書『義務に関する11の試論』、『正義の領分』、『政治の新科学』（而立書房）、『モラルとしての民主主義』、『私たちの場所』（慶應義塾大学出版会）、『歩く』（ポプラ社）、『ソロー日記 春』、『ソロー日記 夏』、『ソロー日記 秋』、『ソロー日記 冬』（彩流社）

**テキスト** プリントを配付します

**内容** 5月19日~6月30日（全4回）

- ① 5月19日
- ② 6月2日
- ③ 6月16日
- ④ 6月30日

毎回、ソローの文章を数篇ずつ選び、講師が朗読します。そして彼についての楽しいエピソードや大切な問題に触れます。ソローの日記を朗読することで、作品とは別の彼の身近な姿が伝わってくると思います。

## POINT

絵本作家・園芸家のターシャ・チューダーは「もし私に人生哲学のようなものがあるとすれば、ソローの言葉がいちばんよく代弁してくれています」と言いました。人間にとって根本的に大切なものに、二人は瞳をこらし、耳をすまそうとしたように思います。日記の朗読を通してソローの真の姿と現在におけるその意義を伝えたい。



ソローはオンドリの時を告げる声に魅了されていました